

相愛大学研究シーズ集

| | |
|---|-------------------------------------|
| シーズ名 | 対人援助職の心理的疲弊とその援助・学齢期の不適応および発達障害への支援 |
| 所属 | 人文学部 人文学科 |
| 氏名 | 坂田 真穂 |
| 【概要】 | |
| <p>医療従事者等、ケアする者へのケアについて研究を行っている。これまで、震災等の惨事における支援者支援の重要性だけでなく、日常業務においても対人援助職特有の心理的受傷が存在することを明らかにしてきた。また、対人援助職の疲弊はやりがいと表裏一体の関係にあることを、『個と家族を支える心理臨床実践』（金子出版）および『いのちを巡る臨床』（創元社）にまとめている。現在は、研究対象である職業的活動の領域を拡げ、その活動が常に感謝の対象となるわけではない援助職にも注目し、その心理的疲弊への心理的援助方法について研究を進めている。</p> <p>いじめ等の問題や、発達障害による不適応について、支援実践を基にした研究を続けている。現代の子どもを取り巻く環境として、インターネットやSNSが及ぼす心理的影響は大きく、このことは『現代のエスプリー加害者臨床』（至文堂）、『Q&A現代非行の特徴』（明石書店）、『加害者臨床』（日本評論社）にて論じてきた。“空気を読む”ことがますます重視される社会において、そのような傾向は発達障害の子どもが学校不適応を引き起こしやすい。発達に偏りのある子どもへの効果的な心理的支援方法について、実践的研究を継続中である。</p> | |
| キーワード | 対人援助職・ケア・発達障害 |